

20th J-WAVE
LIVE! TOGETHER

&

roppongi hills
5TH anniversary

J-WAVE & Roppongi Hills present

TOKYO
MAP.S

KAZUFUMI MIYAZAWA EDITION



開催期間：2008年5月2日(金)～5月5日(祝・月) 計4日間
主催：六本木ヒルズ J-WAVE 81.3FM
会場：六本木ヒルズアリーナ
協賛：サッポロビール 他
入場料：無料
同時開催：J-WAVEフリーマーケット(5月2日、3日)
※ 荒天時はプログラム変更および中止になる場合がございます。
● 地下鉄
○ 東京メトロ日比谷線「六本木駅」よりアリーナまで徒歩約5分
○ 都営大江戸線「六本木駅」よりアリーナまで徒歩約10分
○ 都営大江戸線「麻布十番駅」よりアリーナまで徒歩約5分
● 車
○ 首都高速飯倉ランプ、霞ヶ関ランプから10分 駐車場／2,762台完備
● お問い合わせ：六本木ヒルズ総合インフォメーション
TEL:03-6406-6000 HP:<http://www.tokyomaps.jp>

2008. 5.2-5.5
@ Roppongi Hills Arena

TOKYO M.A.P.Sとは…

六本木ヒルズ開業5周年とJ-WAVE開局20周年を記念して開催されるコラボレーション企画です。開催毎に世界を舞台に活躍するアーティストを、プログラム・オーガナイザーに迎え、様々な表現を毎年ゴールデンウィークに発信していきます。

CONCEPT

その地図には道も場所も記されていません。しかも一枚ではありません。紙ですらありません。その地図はMusic. Art. Performance.の地図です。そのM.A.Pが複数(S)集まり、Showcaseの中でSpecialなStreamとなってSessionするSeries。それがTOKYO M.A.P.Sです。
「手に入れろ!『感動』の地図を!」



KAZUFUMI MIYAZAWA EDITION



宮沢和史 Profile

1966年 甲府生まれ、THE BOOMのボーカリストとして1989年にデビュー。これまでにTHE BOOMとしてアルバムを11枚、宮沢和史ソロでアルバムを5枚リリースしており、現在は新たなバンド=GANGA ZUMBA(ガンガ・ズンバ)としても精力的に活動中。4月9日には初のシングル「シェゴウ・アレグリア! ~歓喜のサンバ~」をリリース。また作家としても矢野暁子、小泉今日子、夏川りみ、MISIA、SMAP、岡田准一(V6)、中島美嘉など多くのミュージシャンに歌詞、曲を提供している。海外でのレコーディングやコンサートツアーを積極的に行い、特にブラジルへの思い入れは強い。代表曲のひとつである「鳥唄」は、アルゼンチンでの大ヒット(2002年)後も各国のミュージシャンに次々にカバーされ、国境を越え、世界に広がり続けている。日本人ブラジル移民100周年の今年、GANGA ZUMBAとしてのブラジルツアーを予定している。

今この場所で描こう! ONGAKUは未来のイマジネーション。

音楽は額縁に収めて一日中鑑賞できるものではありません。
音楽を手のひらに収めて一日中愛でることはできません。

一分間に数百の音符が五線紙を駆け抜け、
数分で一曲の音楽は終わり、「無」に戻ります。
見ることも触れることもできないもの....それが音楽。

しかし、実際に目の前でパフォーマンスされた音楽は
人々の心に火をつけ、腰を踊らせ、興奮と歓喜を呼び起こす....。
時には苛立った心の火を消し、安らぎを与え、静寂に誘うもの.....。

見ることも触れることもできないけれどその時、音楽は人々の「体験」
「記憶」の中に色濃く焼き付けられ、その心の中で永遠を勝ち取るのです。

海外の町で活動する時、よくこう尋ねられます。
「おまえの町ではどんな音楽が鳴っているのだ?」
以前の自分にはその答えが見つけれませんでした。
「世界に胸をはれる音楽が果たしてここにあるのだろうか?」
そう自問し続けていました。でも、今は違います。
ここTOKYOは巨大な交差点のようで、
色とりどりの文化、人種、歴史、ファッションやジョークが
飛び交い、世界で例を見ないほどの独特な音を発信し、
毎日、巨大な都市に共振させています。

2008年の5月の4日間、TOKYO ROPPONGIに
パッケージされた商品ではない、本物の音楽を共振させます。
皆さんの心の中をも響かせ、永遠を勝ち取ることを願って.....

宮沢和史

宮沢和史は、5/4(日)、5/5(月)に出演。

5.2 (FRI)



アナム&マキ

河島亜幸崎と本多真季のアグレッシブ・アコースティックギターバンド。ライブは2人だけの以外にも、バンド、またはベーシストやパーカッショニストとの3人でも、フレキシブルに活動中。アナムの澄み渡る高音とマキの深く染み入る低音のハーモニー、重なり合う2人のギター、この4つの音世界は唯一無二。



Sandii (サンディー)

10代にハワイで本格的にフラを学ぶ。80年には細野晴臣プロデュースのアルバムを日英で発表。その後、数々の作品をワールドワイドにリリースし、世界に通用する日本のアーティストとして活躍。05年には、フラの正統的継承者の称号を授かる。アロハとピースの伝道師として幅広く活動が続いている。

5.3 (SAT)



バランサ

日本を代表するサンバグループ。「メロディーとリズムの宝庫」のサンバは、単に「サンバ=カーニバル」に収まらない魅力にあふれている。そんなブラジルではあたりまえ、しかし世界では知られていないサンバワールドをリアルに表現し、さらにそこから何かを生み出していこうというのが「バランサのサンバ」である。



GO!GO!7188

オリジナルティ溢れる楽曲と高い演奏能力を武器にライブハウスから日本武道館ワンマンまで、ライブを中心とした活動を展開。本格派ロックバンドとしての評価を高める。07年には2度渡るUSツアーを敢行。5月28日にシングル「片思いファイター」、カバーアルバム「虎の穴2」を同時リリース。5月からは初の2マンTour「熊子のHair」を全国各地にて開催。

5.4 (SUN)



我如古より子グループ with 平安隆、吉川忠英

我如古より子 沖縄県与那城町生まれ。幼い頃から父・我如古盛栄の教えを受け民謡の世界へ。78年に「娘ジントーヨー」が大ヒット。坂本龍一のワールドツアーへの参加や、THE BOOMの「鳥唄」を沖縄方言でカバーなど、伝統的な沖縄民謡のみに留まらず、様々なジャンルのミュージシャンとコラボレーションを展開。

平安隆 52年沖縄県生まれ。10代より米軍基地などで、R&B/バンドのギタリストとしてミュージシャン活動をスタート。今年、ミュージシャン活動40周年を迎える。

吉川忠英 71年「EAST」のメンバーとして全米デビュー。アコースティックギター第一人者として、数多くのアーティストのレコーディングやコンサートに参加。

GUEST VOCAL'S



加藤登紀子

数々のヒット曲を有しながら、FUJI ROCK FESTIVALやap bank fes'07に出演するなど世代、ジャンルを超えた歌手活動が目立っている。5月7日には、待望のカヴァーアルバム、「SONGS うたが街に流れていた」が発売される。



新垣勉

全音、天涯孤独の逆境を乗り越え、自分を救った音楽の素晴らしさを伝えるべく「オンリーワンの人生を大切に」と呼びかけるコンサートを展開。武蔵野音楽大学音楽科卒業。同大学院修了。代表曲「さとうきび畑」「千の風になって」



宮良忍

DA PUMPのメンバーとしてデビュー。その後、ふるさと音楽、三線を使って楽曲制作を行うようになる。06年、自分の音楽性を追求するためDA PUMPを脱退。現在、音楽ユニット「いなむめ3」のヴォーカリストとして積極的に活動。



大城クラウディア

アルゼンチン生まれの沖縄系二世。02年アルフレッド・カセーロの「Shima Uta」をきっかけにGANGA ZUMBAとしてデビューする。07年9月には自身のルーツでもある沖縄民謡を中心としたアルバム「CLAUDIA」でソロデビューを果たす。



GANGAZUMBA

宮沢和史をボーカルに、高野寛、マルコス・スザーノなど、国籍も言語も音楽的バックグラウンドも異なる個性派ミュージシャンたち10人によるバンド。海外でも積極的に活動を行ない、05年はヨーロッパと中南米10カ国をツアー。さまざまな要素がミックスチャーされたオリジナルの音楽、グループは各国で高い評価を得ている。

5.5 (MON)



アフロキューバミーゴス!

「アフロキューバミーゴス!」は数あるジャズバンドの中でも一番ラテンジャズ色が濃く、かつタイトなバンド。激しいインテンプレイからは、情熱的なキューバンビートがほととばし、ダイナミックなプラスとパーカッションが、生み出す絶妙なタイミングとスパイスが効いたノリノリラテンジャズに触れたら、踊らざるにはられない!

GUEST VOCAL'S



NORA

東京都出身。バンド活動に明け暮れた大学時代にサルサと出会い、84年オルケスタ・デ・ラ・ルスを結成。89年ニューヨークでのライブツアーをきっかけに海外で大ブレイク。日本にも飛び火し、サルサブームを巻き起こす。



アルベルト城間

66年、ペルー共和国のリマ市で日系3世として生まれる。来日し祖父の故郷・沖縄でライブ活動をはじめ、91年、他のペルー国籍の日系3世や地元ミュージシャンと、ディアマンテス(スペイン語でダイヤモンドの意味)を結成。



ROCKAMENCO

フラメンコの世界で生きるKSK Arita(Vo)とメジャーシーンで活躍するIchiro(Gt)のジャンルを超えた出会いにより結成された7人編成のバンド。ロックとフラメンコだけでなくラテン音楽も軸にしたワールドワイドな楽曲を日本語で歌い上げる独自の世界が魅力。07年SONIC GROOVEよりメジャーデビュー。1st Album「PASSION」発売中。

	5.2 FRI	5.3 SAT	5.4 SUN	5.5 MON
10:00				
11:00				
12:00				
13:00	J-WAVE フリーマーケット	J-WAVE フリーマーケット	我如古より子グループ 12:30~13:30	アフロキューバミーゴス! 13:00~13:50
14:00			我如古より子グループ 14:00~15:00	
15:00				ROCKAMENCO 15:00~15:40
16:00				
17:00	アナム&マキ 17:00~17:30	バランサ 17:00~17:40		
18:00	Micro 18:00~18:30			
19:00	Sandii 19:00~19:50	GO!GO!7188 19:00~19:40	GANGAZUMBA 19:00~19:50	アフロキューバミーゴス! 19:00~19:50
20:00				

※出演者は、追加および変更になる場合がございます。 ※荒天時はプログラム変更および中止になる場合がございます。